



令和3年度ヨコハマ市民まち普請事業 1次コンテストを開催します！

今年度は**8グループ**が、施設整備の実現に向けて**1次コンテスト**に臨みます。(裏面参照)
1次コンテストでは、各グループからの提案を「創意工夫」・「意欲」・「公共性」の3つの基準により審査し、2次コンテストの対象となる提案を公開で選考します。

ヨコハマ市民まち普請事業とは…

市民の皆様が主体となって行う地域の課題解決や魅力向上のための施設整備の提案に対して、支援、助成を行う横浜市独自の事業です。二段階の公開コンテストを経て選考された提案には、50万円～500万円の整備助成金を交付し、まちづくりを支援します。

1次コンテストの概要について

- 1 開催日時 令和3年7月10日(土) 10時30分～17時(予定)
- 2 内容 ①グループによる提案発表 ②審査委員*による情報収集タイム
③質疑応答 ④審査委員による投票 ⑤結果発表

*審査委員は、横浜市地域まちづくり推進条例に基づき設置される「ヨコハマ市民まち普請事業部会」の委員8名です。(地域まちづくりについて専門的知識を有する者6名、市民公募により選出された2名)

- 3 公開方法 新型コロナウイルス感染症対策のため、YouTubeでのLIVE配信により公開(一般観覧の方はコンテスト会場に入場できません。取材をご希望の方は、7月9日(金)12時までに裏面のお問合せ先へご連絡ください。取材時の人数や方法を調整させていただきます。)



<提案発表>



<情報収集タイム>



<質疑応答>

令和2年度1次コンテストの様子

YouTubeによるLIVE配信！

まちづくりへの強い思いを持ったグループによる「施設整備についてのプレゼンテーション」「審査員との白熱した質疑応答」そして「緊張感あふれる結果発表」までコンテストの様子をYouTubeでLIVE配信します。皆様の身近なまちづくりの参考にしてください。



←視聴はこちらから

令和3年7月10日(土)
10時30分より配信予定！

どなたでも、登録不要で視聴可能です。
お手持ちのパソコンやスマートフォン等から
ご覧ください。

※LIVE配信は17時に終了する見込みですが、コンテストの進捗状況により配信時間が変更となる場合があります。

裏面あり

1次コンテスト整備提案一覧

1次コンテストにおいて、以下の提案の中から2次コンテストに進む提案を選考します。

発表順	区名	提案グループ名	整備提案の概要
		整備提案名	
1	緑	まちとも 霧が丘	団地の空テナントを活用し、多世代、多国籍交流拠点を整備。子ども食堂、日本語・外国語教室、買い物代行などを通し助け合いのネットワークを創る場に。
		地域で繋がり、楽しむ！ 多世代・多国籍交流の新拠点	
2	港北	日吉有志会	日吉駅近くに、関連業者と連携した未病改善支援、女性活躍支援を行う施設を整備。健康チェックや子ども食堂など様々な事業を展開し生き生きと暮らせるまちへ。
		Healthy Center (健康センター)	
3	都筑	地域コミュニティ 居場所づくり実行委員会	マンションの共用部に、コミュニティカフェ、展示スペース、自由スペースなど、地域の方がふらっと寄れる居場所を整備。多世代交流、自立支援の場に。
		都筑ふれあいの丘 「モヤ→キラ」コミュニティカフェ	
4	神奈川	みんな空の下で！	空き家を活用し、子どもからお年寄りまで気軽に集えるサービスルームを整備。学習支援、買い物代行など様々な活動を通し世代を超えた助け合いの場に。
		みんな空の下で集って、 笑って、明るい町内	
5	南	弘明寺リビングラボ	弘明寺商店街の一角に、地域の健康相談所、就労支援事業のための商品開発等を行うコワーキングスペース、食育イベントなどを開催するためのスペースを整備。
		事業支援のためのローカル プラットフォームを構築する	
6	鶴見	NPO法人史季の郷	既存の歴史資料室・交流室を拡張し、地産地消カフェや交流サロン、子育て相談所などの多種多様な事業を展開できる拠点を整備。
		新たな事業展開と 柔軟な地域交流拠点の整備	
7	金沢	食卓八景一つながりの リビングをつくる会	空き家を再生しシェアハウスとした建物の共有部をまちに開放。縁側や庭を整備し、誰もが気軽に立ち寄り、地域の人とつながることのできる多世代交流拠点へ。
		八景市場ANNEX -自らつくり、つながる場所	
8	鶴見	「結(ゆい)」 つるみ実行委員会	おきなわ物産センターなどが入るビルの空き室に、沖縄芸能や南米の文化体験、イベント企画のための集会所、地域の情報発信コーナーを整備。
		イノベーションハブ 「つるみ ゆいまーる」の創出	

各グループの提案書は、1次コンテスト当日の9時からヨコハマ市民まち普請事業のWebページ(イベント情報ページ)に掲載します。

過去のコンテストや整備を行ったグループによる整備成果報告会の様子も掲載していますので、是非ご覧ください。

まち普請 イベント情報

検索

お問合せ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長 萩原 慶一 Tel 045-671-2665

令和3年度 ヨコハマ市民まち普請事業

まちづくりに関する市民提案の公開審査会

オンライン配信

公開

1次コンテスト

私たちのまちを私たちがつくる

きっとまちが好きになる

ヨコハマ市民 まち普請事業とは？

市民の皆さんが主体となって行う、地域の課題解決や魅力向上のための施設整備を伴うまちづくりに対して、支援、助成を行う事業です。二段階の公開コンテストで選考された提案に最大500万円を交付します。

7月10日±
10:30~17:00

詳細は裏面をご覧ください。

視聴は
こちらから



YouTubeチャンネル
「ヨコハマ市民まち普請事業」
10時30分から配信

令和3年度整備提案一覧(発表順)

- ① 地域で繋がり、楽しむ！多世代・多国籍交流の新拠点／まちとも 霧が丘(緑区)
- ② Healthy Center(健康センター)／日吉有志会(港北区)
- ③ 都筑ふれあいの丘「モヤ〜キラ」コミュニティカフェ／地域コミュニティ居場所づくり実行委員会(都筑区)
- ④ みんな空の下で集って、笑って、明るい町内／みんな空の下で！(神奈川区)
- ⑤ 事業支援のためのローカルプラットフォームを構築する／弘明寺リビングラボ(南区)
- ⑥ 新たな事業展開と柔軟な地域交流拠点の整備／NPO法人史季の郷(鶴見区)
- ⑦ 八景市場ANNEX ― 自らつくり、つながる場所／食卓八景 ― つながりのリビングをつくる会(金沢区)
- ⑧ イノベーションハブ「つるみ ゆいまーる」の創出／「結(ゆい)」つるみ実行委員会(鶴見区)



1次コンテストの
詳細はこちらから。
提案書は7月10日
9時からご覧いた
だけます。

令和3年度 ヨコハマ市民まち普請事業

公開

1次コンテスト



事業の流れ(令和3年度)

自らが主体となり施設整備を通して地域の環境整備を行いたい市民(3人以上)

令和3年4月1日(木)~令和3年6月2日(水)
整備提案募集

令和3年7月10日(土)
1次コンテスト

2次コンテストに向けた活動

- 活動助成金として最大30万円を交付
- まちづくりの専門家を紹介
- 市職員が伴走支援

令和4年2月6日(日) 2次コンテスト

整備助成金として最大500万円を交付
(交付時期は翌年度となります)
市民自ら整備・維持管理を実施

まち普請事業の応募の相談・事前登録は、年間を通して受け付けています。お気軽にお電話またはEメールでお問い合わせください。

TEL 045-671-2679
Eメール tb-seibiteian@city.yokohama.jp

開催日時

令和3年7月10日(土) 10:30~17:00(予定)

公開方法

横浜市役所アトリウムよりオンライン配信

新型コロナウイルス感染症対策により、一般観覧の方はご入場いただけません。

プログラム(予定)

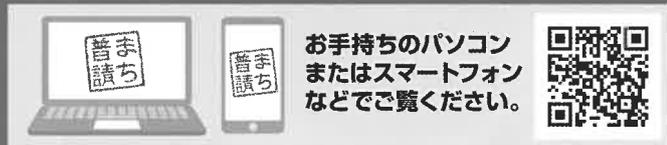
10:30 開会
まちづくり提案の発表
公開質疑・選考

17:00 閉会

視聴無料
登録不要

YouTubeチャンネル

「ヨコハマ市民まち普請事業」から配信します。



お手持ちのパソコン
またはスマートフォン
などでご覧ください。

1次コンテストの詳細はヨコハマ市民まち普請事業の
イベント情報ページよりお知らせします。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/suishin/machibushin/event.html>

ヨコハマ市民まち普請事業 ホームページ

まち普請

検索

ヨコハマ市民まち普請事業facebookページ



まち普請ひろば

検索



審査員(ヨコハマ市民まち普請事業部会委員)

すぎさき 杉崎	かずひさ 和久	(部会長) 法政大学法学部教授(都市計画まちづくり)
あさひな 朝比奈	なゆり 奈ゆり	東京ボランティア・市民活動センター専門員 (市民活動支援・みどり環境)
いとお 飯尾	ともこ 友子	本牧山頂公園和田山地区愛護会会長 (まちづくり・市民活動)
うえまつ 植松	まみこ 満美子	市民委員(公募)
かとう 加藤	こうすけ 功甫	市民委員(公募)
かわはら 川原	すすむ 晋	東京都立大学都市環境学部教授 (市民事業・観光まちづくり・都市デザイン)
ごとう 後藤	ちかこ 智香子	東京大学先端科学技術研究センター 特任講師(まちづくり・住環境・こども環境)
まつむら 松村	まさはる 正治	NPO法人よこはま里山研究所理事長 (市民協働・環境社会学)

主催 横浜市/横浜市住宅供給公社/認定NPO法人市民セクターよこはま

問合せ 横浜市都市整備局地域まちづくり課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL 045-671-2679 FAX 045-663-8641

Eメール tb-seibiteian@city.yokohama.jp



FSC®森林認証紙、ベジタブルインキ(植物油インキ)等環境に配慮した用紙、印刷資材を使用しています。

